

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	業務に追われ、職員本位のケアになりがちである。	施設で掲げている介護理念でもあるように、入居者第一のケアを目指す。	目先の業務にとらわれず、まずは入居者に目を向ける。 職員会議などで入居者の特性を共有・把握していく。	6ヶ月
2	16	定期的に施設を訪れることが出来ない家族との繋がりを保てていない。	施設を訪れることが出来ない家族とも繋がりを 持てるよう支援する。	入居者からの絵葉書や手紙を家族へ送付し、返信してもらえよう家族へ相談する。	3ヶ月
3	32	入居者一人ひとりの好みや能力を十分に活かせていない。	入居者全員に食事に対する興味を持ってもらう。	メニュー作成に始まり食事作り、あと片付けまで入居者に関わってもらう。	6ヶ月
4	35	排泄の声掛け・誘導に職員間でばらつきがある。	全職員が同一の意識を持ち排泄の自立支援をする。	全職員が利用者の能力を決めつけず声掛けや誘導を行う。	3ヶ月
5	2	事業所が地域の一員として日常的に交流できていない。	機会があれば町内会などの行事に積極的に参加する。	行事がある際は町内会長様に連絡してもらい、参加できるよう努めていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。